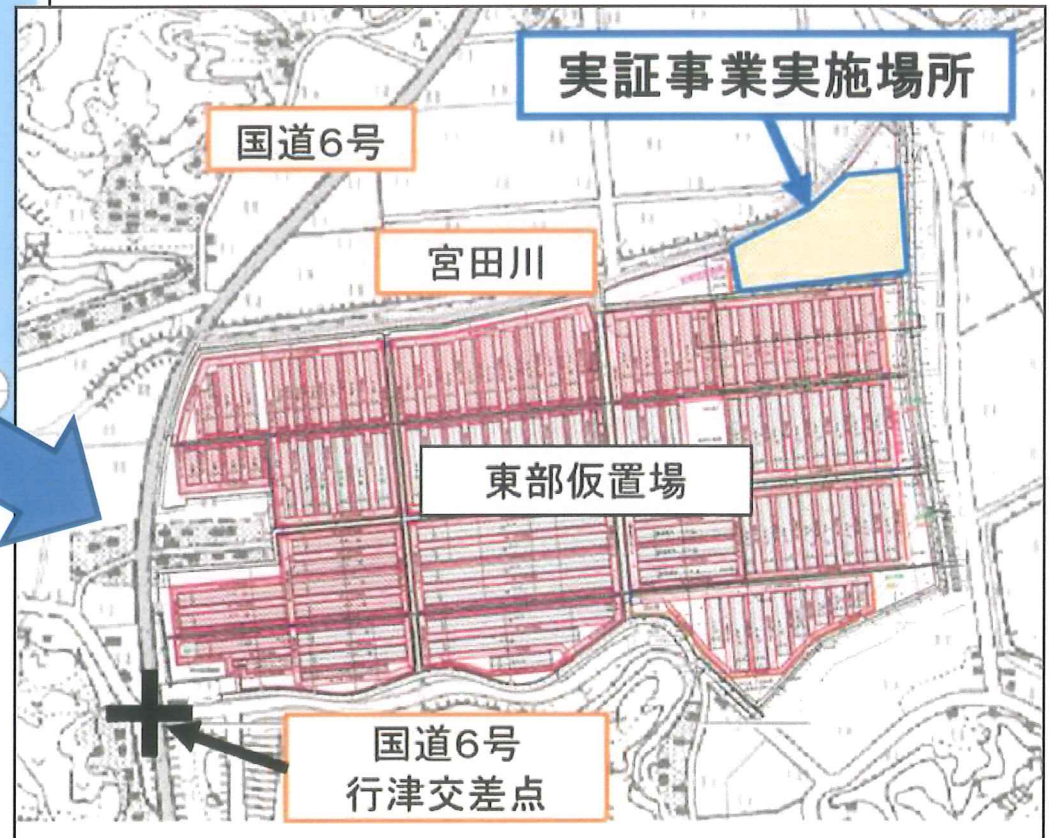


実証事業実施場所



東部仮置場内の敷地の一部を
今回の事業向けに使用します



実証事業スケジュール

平成28年

12月～ 事業契約(減容化・再生利用技術研究組合、12月2日)
再生資材化設備整備等に着手

平成29年

4月～ 前処理・品質調整工程の開始

5月～ 試験盛土の施工開始

7月頃 試験盛土の完成・モニタリング開始

※実証用地の造成等を慎重に進めていること等に伴い、当初予定よりも時間を要している

※現場での事業着手後、実証事業の見学会を複数回開催予定。また、実証事業場所に事業の説明スペースを設け、要望等に応じた適時の対話・説明等にも対応予定

実証事業の概要

- 福島県南相馬市の仮置場内で、再生資材化実証試験及び試験盛土を施工
- 必要な飛散・流出防止対策を講じながら、再生資材化した除去土壌等を用いた盛土構造物を造成し、その後、一定期間、盛土構造物のモニタリングを実施（なお、盛土構造物はモニタリング終了後、撤去）

1. 再生資材化実証工程（平成29年4月～）

① 土のう袋の开封・大きな異物の除去

大型土のう袋（約1000袋）を開封し、大きな異物を除去します



开封機

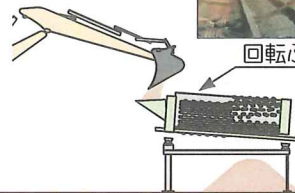


② 小さな異物の除去

ふるいでより小さな異物を除去します



回転ふるい機

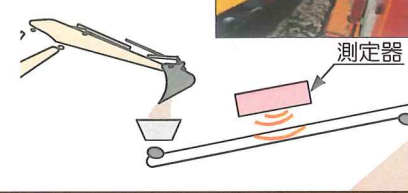


③ 濃度分別

放射線量を測定し、土壌を分別します（3000Bq/kg以下）



測定器

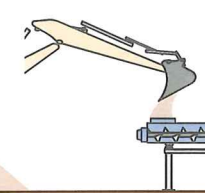


④ 品質調整

盛土に利用する土壌の品質を調整します（水分、粒度など）



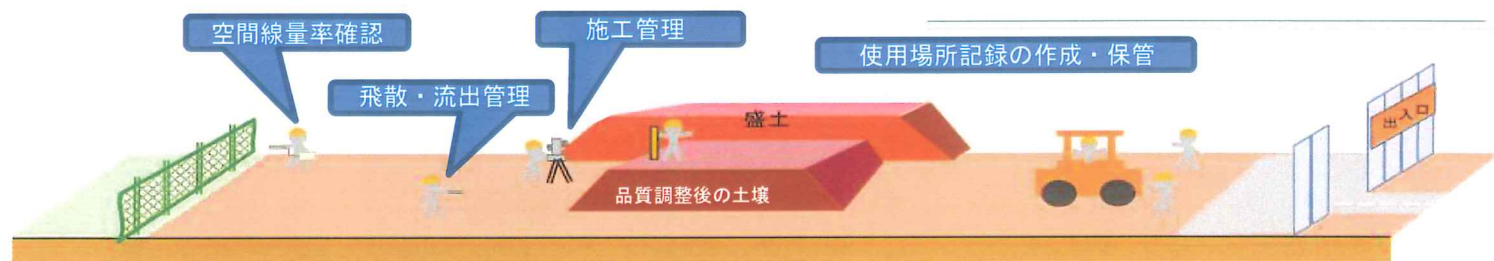
品質調整機



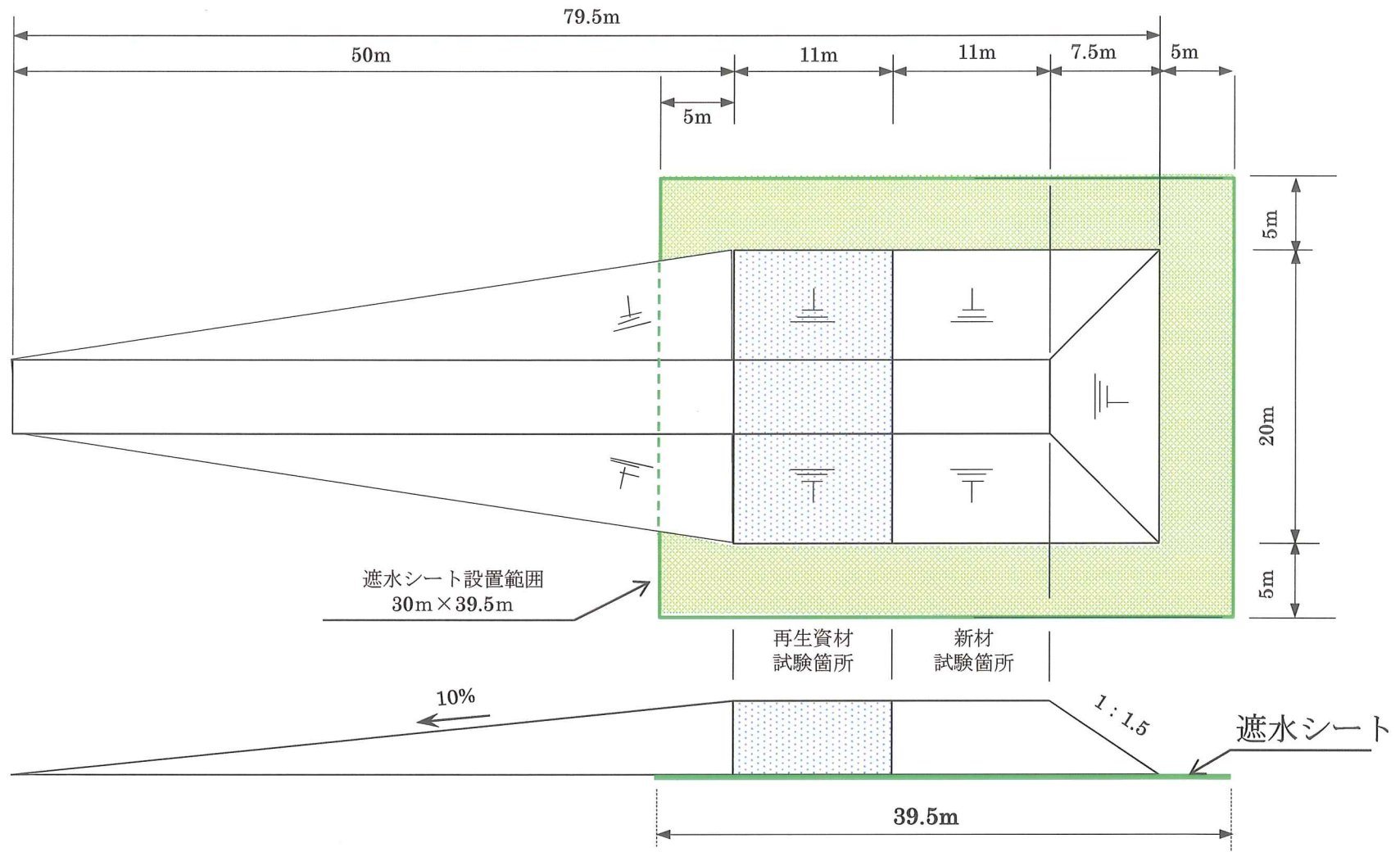
2. 試験盛土工程（平成29年5月～）

⑤ 試験盛土の施工・モニタリング

- 試験盛土を施工します
- 盛土の高さ、形状等については、地盤の状況等を観測しながら決定していきます。
- 空間線量などの測定を継続します



試験盛土工程



※盛土の高さ、形状等については、地盤の状況等を観測しながら決定していく